

令和8年度 内子高等学校 シラバス

教科	国語	科目	論理国語	単位数	2単位	学年	3学年
教科書	新論理国語（三省堂）		副教材等	新国語総合ガイド（啓隆社）			

1 学習の目標

- ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
- ・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- ・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 学習の内容

学期	単元・項目	学習の内容	備考
第1学期	7 具体と抽象の関係を理解するために 〈多様な論点を結びつける〉 この十年をどう生きるか 〈必要な情報を関係づける〉 プラスチックごみについて考える 〈考えを相対化する〉 説得力のある文章を書く	・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、多面的・多角的な視点から理解します。 ・複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係づけて自分の考えを広げたり深めたりします。 ・論証したり、学習の基礎を学んだりするために、語感を磨き語彙を豊かにします。 ・自分の主張が的確に伝わるように、文章全体を整えたり、課題を捉え直したりできるようにします。	中間テスト 期末テスト
第2学期	8 批評するために 〈批評する〉 〈自動車〉と〈映像〉の二十世紀 〈論理の明晰さを確かめる〉 報告文を書く 9 情報を関連づけ自分の解釈を形成するために 〈内容の解釈を深める〉 文系と理系の壁はあるか 〈主張が的確に伝わるか吟味し修正する〉 自己推薦文を書く	・文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解します。 ・情報を、重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解します。 ・関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めます。 ・文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章が書けるようにします。	中間テスト 期末テスト
第3学期	10 解釈を広げたり深めたりするために 〈自分の考えを捉え直す〉 未来のありか	・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やします。 ・情報を、重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について、理解を深めます。	

3 評価の規準

【知識・技能】

実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。

4 評価方法

学期ごとに、上記の評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、定期テスト、単元テスト、小テスト、ノート、プリント、レポートについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cで評価します。

5 学習のアドバイス

各教材の冒頭には、各単元のテーマや身に付けたい国語の力が示してあります。これらを意識するだけでも学習の効果が上がります。授業はもちろんのこと、予習や復習の前にも必ず読んで確認しましょう。

授業では、記述の課題やグループ活動など、自分の頭で考えをまとめ、表現することに積極的に取り組みましょう。

う。インプットとアウトプットのバランスをとりながら学習する方法が、最も効果的です。